

経営比較分析表（平成30年度決算）

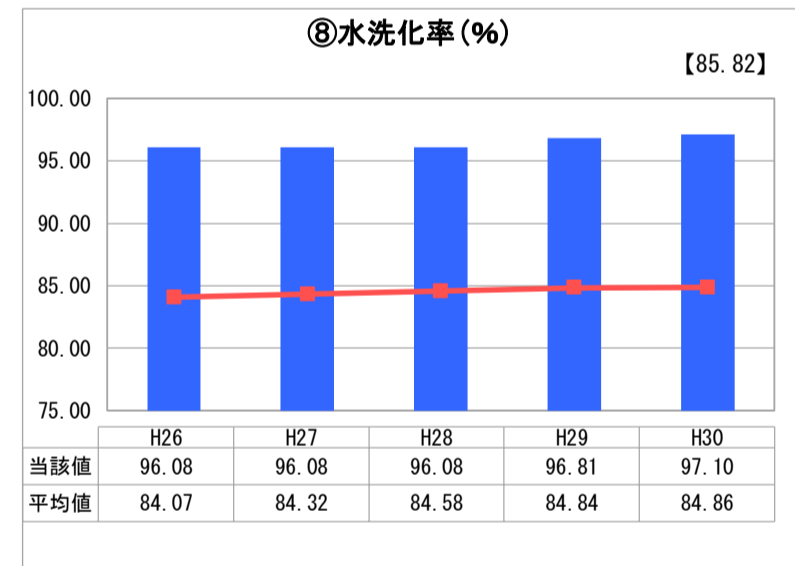
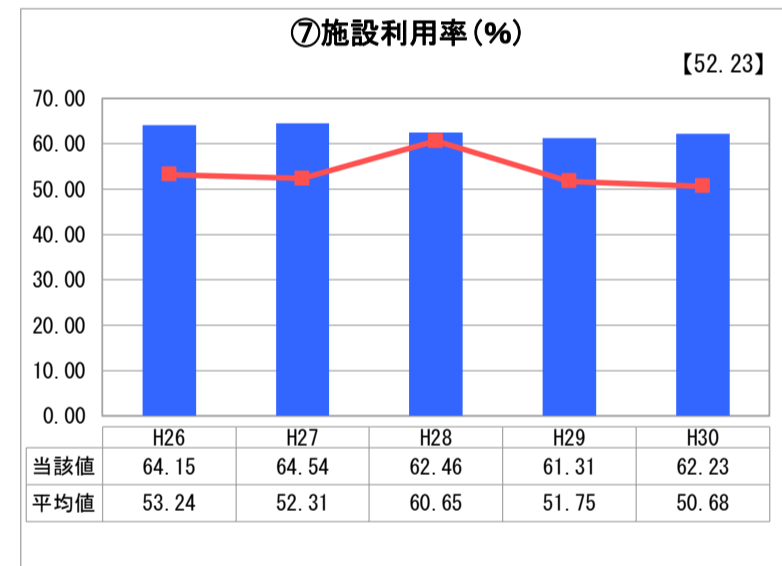
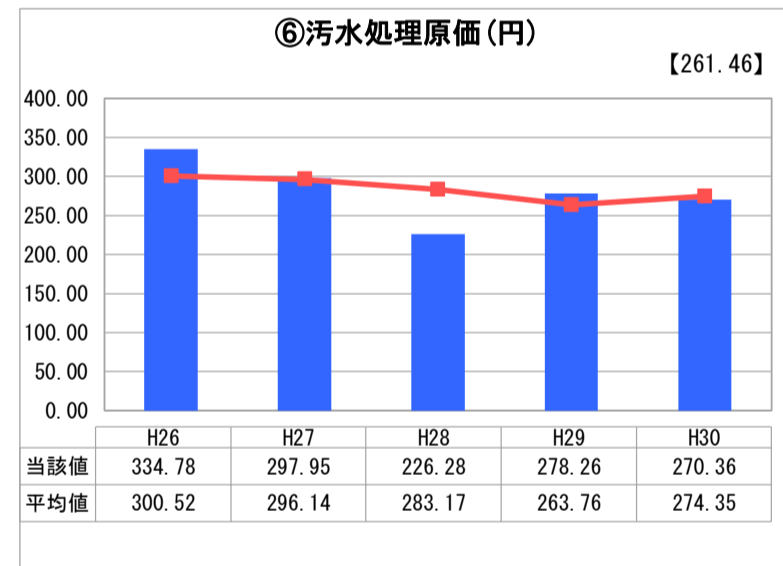
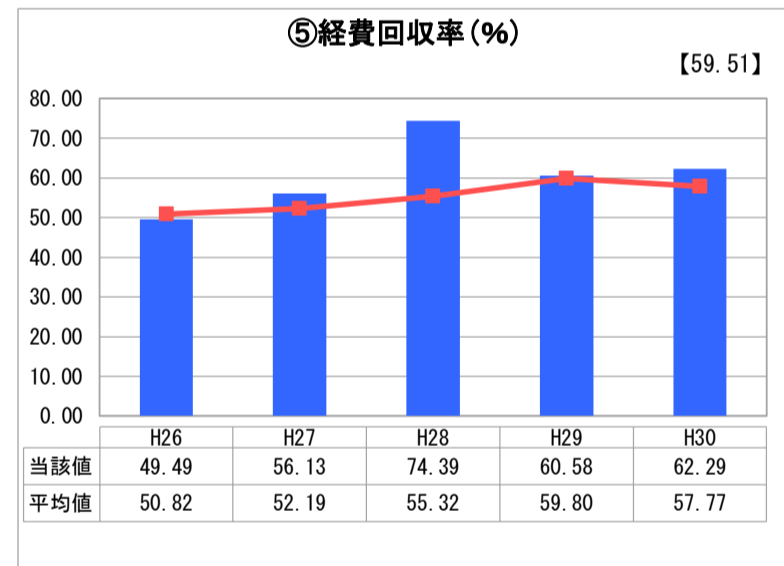
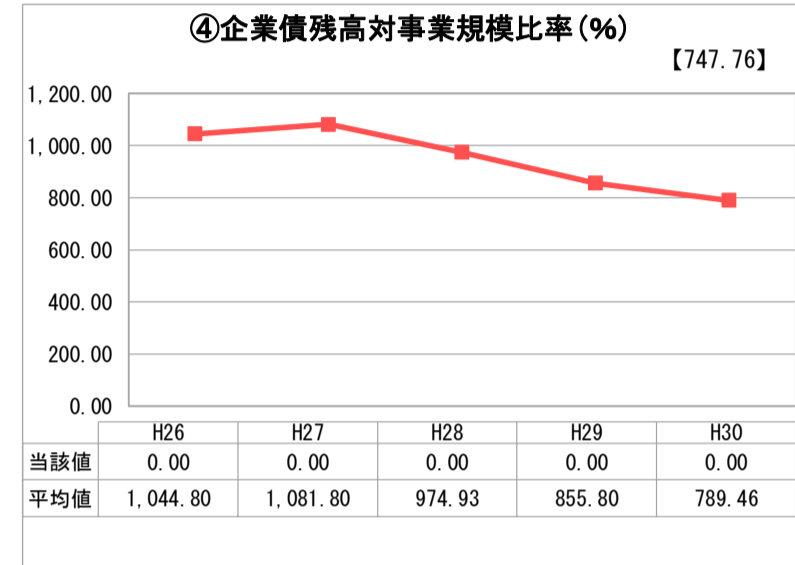
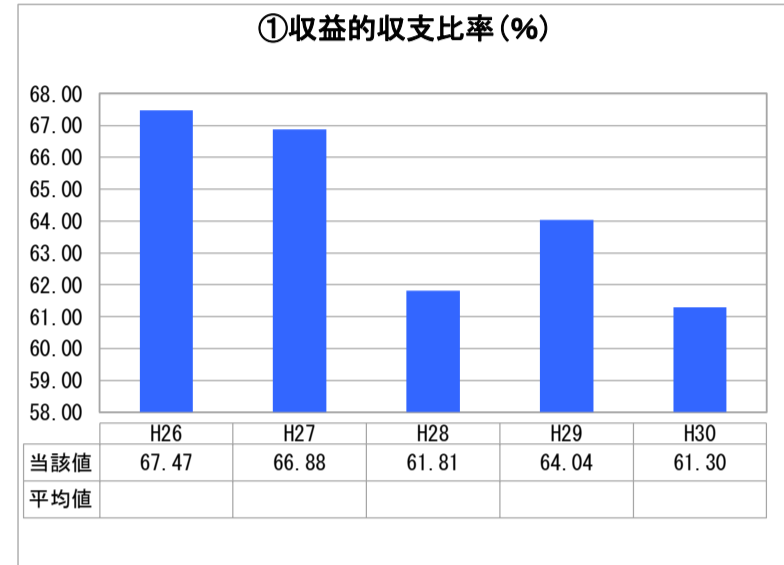
兵庫県 上郡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	18.91	88.69	3,024

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,025	150.26	99.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,830	1.09	2,596.33

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、61.3%となり前年度と比べて2.74%低下しました。主な要因は、企業債償還金が増加したこと。過去の投資の財源として発行した企業債の償還が増加しており、今後も同程度の金額が続くことが見込まれ、比率は低下する傾向であると予想されます。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較し、低い数値ですが、企業債の増加は下水道事業だけでなく町全体の財政状況に影響があるため、企業債残高については、今後も注視する必要があります。料金水準の適切性を示す⑤経費回収率は、62.29%となり、前年度に比べ1.71%増加しました。前年度と比べ、施設の修繕に伴う維持管理費用が減少したことが主な要因です。後は、施設の老朽化に伴い、維持管理費用が増加する見込みです。

⑥汚水処理原価は、270.36円となり、前年度に比べて7.9円減少しました。前年度と比べ、施設の修繕に伴う維持管理費用が減少し、汚水処理に係る費用が減少したことが主な要因です。後は、施設の老朽化に伴い、維持管理費用が増加することが見込まれ、汚水処理原価は、上がると予想されます。

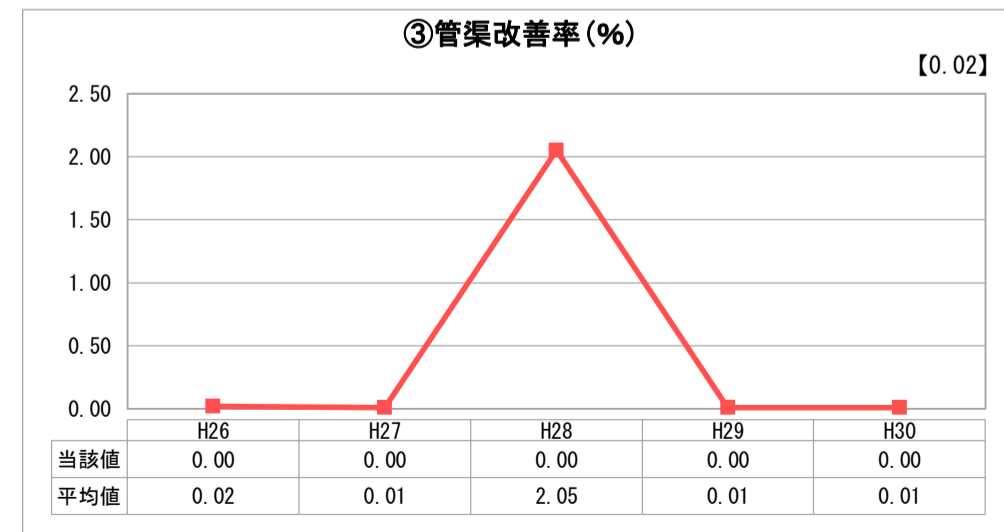
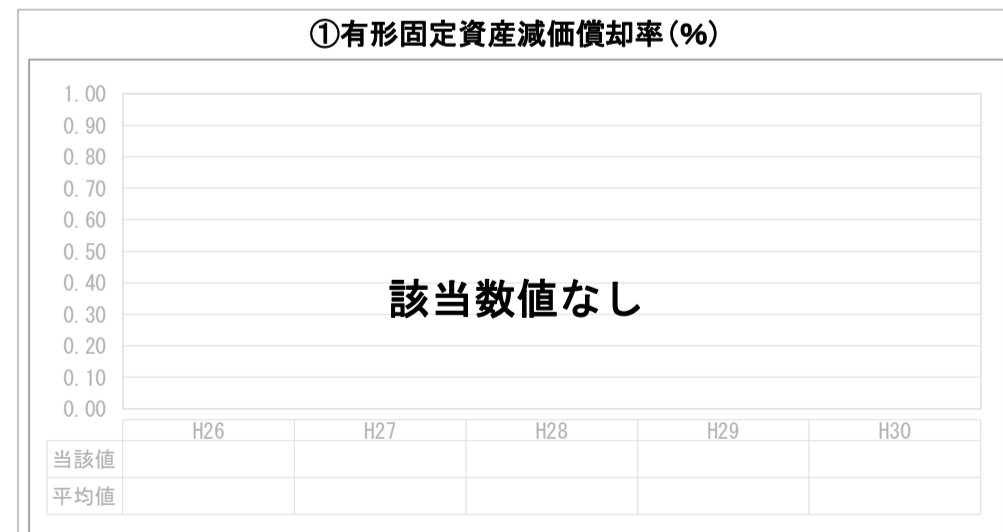
⑦施設利用率は、62.23%となり、前年度より0.92%増加しました。類似団体より高い数値となっており、施設に余裕がある状態です。

⑧水洗化率は、97.10%となり、0.29%増加しました。類似団体よりも高い数値であり、今後も安定的な使用料確保のために水洗化へのPRを行い、接続の推進を図ります。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業では、近年、管渠の更新は行っていませんが、令和元年度末に最適整備構想を策定します。後は、この最適整備構想をもとに計画的な施設の保全を行い、個々の施設ではなく施設全体を計画的に最適化することにより効率的な施設維持と長寿命化を図り、既存施設の有効利用に努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水事業は、計画区域内の整備が完了しており、後は接続率の向上に伴う使用料の大幅な増収は見込めない状況にあります。また、過去の投資に伴う企業債の償還は増加する傾向にあり、施設の老朽化に伴う修繕費など維持管理に係る費用の増加が懸念されます。

後は、効率的な施設維持と長寿命化を図りながら、経営安定のための使用料の見直しについても、慎重に検討し、健全な経営に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。